

東海北陸

Branch Report Vol.52

TOUKAI-HOKURIKU

2010. February



岡崎城



法団 日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ	積算の時代を育もう！	支部長 小野 徹郎	1
平成 22 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ			2
平成 22 年度建築八団体共催新年互礼会を主催して		副支部長 川辺 清次	3
建築積算資格者更新講習会	資格制度委員会	委員長 林 進	4・5
積算教育のモデル年度をほぼ終えて	教育委員会	委員長 藤井 正王	6
講習委員会報告及び PR	講習委員会	委員長 剛谷 智彦	7
データベース委員会だより	データベース委員会	委員長 植田 隆明	8
総務委員会だより	総務委員会	委員長 川辺 清次	8
設計審査委員会だより	設計審査委員会	委員長 西田 彰	9
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会	小中 利文	9
松田先生の死を悼んで	日本建築積算協会	顧問 杉浦 譲治	10
第 39 回 建築総合展 NAGOYA 2009		担当 林 進	11
ナゴヤドームへ野球観戦にいこう			12
忘 年 会	広報委員会		13
三日間の貴重な体験	建築科	小島紗也華・牧野円香・宮城めぐみ	14
北陸部会だより	北陸部会	笠谷 正	15
静岡部会だより	静岡部会	藤曲 充信	16
岐阜部会だより	岐阜部会	生田 孝文	16
2010 年 謹賀新年 積算事務所からの御挨拶			17~20
株式会社 大成出版社			21
財団法人 建設物価調査会			22
TOMO データサービス株式会社			23
山田印刷所			24
編集後記			25
協栄産業株式会社			26

積算の時代を育もう！



(社)日本建築積算協会

東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様はそれぞれのお立場で頑張っておられることと思います。今年も宜しくお願いいたします。

昨年、建築界は1昨年の世界同時不況の波を脱却できず、もがき苦しんだ年でした。相変わらず先行き不透明の中で、建築に対する投資を控える傾向が続いています。そうした状況の中、社会はあらゆる場面でより一層の価格抑制を求めており、それが価格の過当競争を呼び、いわゆるデフレスパイラルに入ったとさえ言われています。デフレスパイラルの恐ろしい所は、その始まりはコスト削減、家計軽減に繋がり歓迎する空気が存在しますが、結果的に企業収益の低下、給与の削減、社会全体の縮小に繋がり、気づいたときは社会全体の活力が失われ、底なし沼の状況に陥る所です。このデフレスパイラルに陥らない基本は、仕事に対する適正評価による適正価格の設定と適正価格による取引です。建築に於いても然りで、その仕事のプロが我々建築積算業界であるはずで、従って積算業務に携わっている者は、性能とコストを理解し、幅広い専門性の中で、ふさわしい責任を果たして行くことが求められます。コスト管理士、積算士は、建築という商品を競争原理の中で、性能を確保した上で、合理的な適正価格を如何に設定し提示出来る唯一の職能であり、そのことが今我々に求められています。

そうした状況の中で、私ども積算協会東海北陸支部はその原点に立ち返って活動しています。その活動の柱を以下に要約します。

まず、第一は財政の健全化です。建築に関わるコストを適正に管理し、提示する積算協会自身の財政状況が悪くてはどうしようもありません。衣食足って礼節を知るであり、紺屋の白袴にならないようにする必要があります。当支部

では全国の支部に率先して支部事務室を移転すると共に、コピー機などこれまでの様々な契約を見直し、運営経常経費の縮減に取り組み、会員サービスの質を落とさないようにしています。今後さらに切り込めるところは切り込んでいきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

第2は会員増強活動です。本年度は賛助会員の増強を掲げ、賛助会員を2桁にすべく活動を開始しています。また役員を中心に一人一会員を勧誘することを目標にしたいと思っておりますが、今後は一会員一人を目標にしたいとも考えていますのでその節は宜しくお願いいたします。

第3は学校教育での積算教育の具体的展開と支援です。本部の積算士補構想に呼応して、東海北陸支部では、昨年、大学から工業高校、専門学校まで含めて、4校のモデル校を指定し、建築積算教育の普及を支援してきました。今春には積算士補の資格を有する学生がかなり誕生することと思えます。こうした若年層への積算教育の取り組みは、将来積算界の中核となる人材を育て、ひいては積算界の発展に繋がるものです。支部としても大いに支援していきたいと考えています。

第4は資格者の増大と更新教育、継続教育に関する問題を含めた会員サービスの問題です。資格者の増大、継続教育の問題は支部単位ではなかなか取り組みが難しいところがありますが、例えば講習会資料の充実などを基本とした講習会の魅力アップなどを本部に強く働きかけていきますのでご期待下さい。また支部としては、支部主催の各種講習会の開催と、会員相互の懇談・懇親の場を増やしていきたいと考えています。今後、色々と企画をしてその都度ホームページに掲載していきますので、是非積極的にご参加下さい。

建築界が契約社会の構築を目指すならば、コストを含む契約業務は当然建築業務の最も上流に位置するものでなければなりません。積算が単なる数量拾いではなく、論理的な体系の中で公正且つ適正に成されれば、建築の質の向上に繋がり、積算界の社会的な評価も高まります。この困難な状況においてこそ、積算士、コスト管理士の重要性和、それに相応しい力量が必要とされています。この厳しい冬の時代に力を矯めて、来たるべき春に備えようではありませんか。
(椋山女学園大学教授、名古屋工業大学名誉教授)

平成 22 年 1 月吉日

(社) 日本建築積算協会

東海北陸支部正会員 各位

(社) 日本建築積算協会東海北陸支部

支 部 長 小 野 徹 郎

平成 22 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、まだお屠蘇気分が抜け切らない頃かと存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々にご案内申し上げる次第です。標記通常総会並びに懇親会は、下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

謹 白

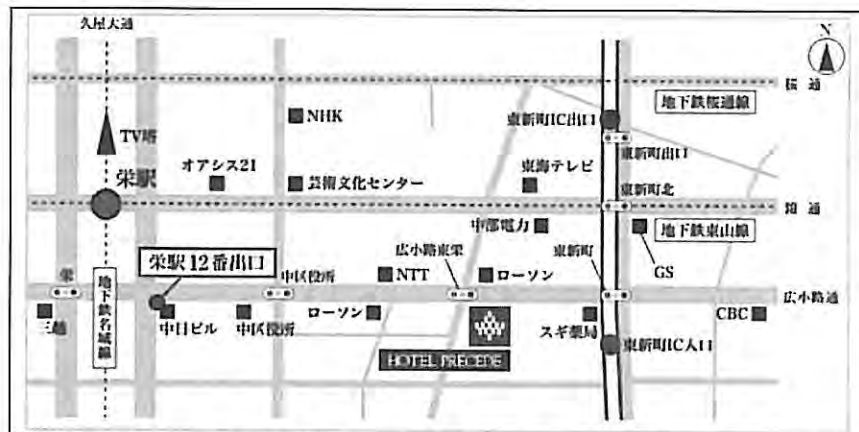
記

《通常総会》

1. 日 時： 平成 22 年 4 月 23 日 (金) 16 時 30 分より
2. 場 所： ホテルプリシード名古屋 (ホームページ <http://www.hotel-precede.com/>)
名古屋市中区栄四丁目 6 番 1 号 TEL (052) 263-3411
3. 議 案
 - 第 1 号議案 平成 21 年度 事業報告承認の件
 - 第 2 号議案 平成 21 年度 収支決算及び監査報告承認の件
 - 第 3 号議案 平成 22 年度 事業計画 (案) に関する件
 - 第 4 号議案 平成 22 年度 収支予算 (案) に関する件
 - 第 5 号議案 平成 22 年度役員補選に関する件
 - 第 6 号議案 その他
4. 表彰式

《懇親会》

1. 日 時：平成 22 年 4 月 23 日 (金) 18 時より
2. と ころ：ホテルプリシード名古屋
3. 会 費 実費
- 4.



※地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12 番出口 徒歩約 4 分

平成 22 年度建築八団体共催新年互礼会を主催して

副支部長 川辺 清次

新年明けましておめでとうございます。

昨年は 100 年に一度といわれる不況の中で、建築業界は右往左往しました。今年は何とか明るい兆しをと願っております。

今年、当積算協会が 8 年に一度の主催幹事をする事になりました。景気を反映してか、一割ほど少ない参加者となりました。限りある予算の中で、皆様方に十分楽しんでいただけるよう、ワーキンググループのメンバーが一丸となって計画を立てました。

18 時の開会宣言に始まり、各団体長の紹介、主催団体代表として小野支部長が挨拶をいたしました。カミュ(仏)の作品「ペスト」の「最悪の中で何をすべきか・・・誠実さである」を取り上げられ、我々の与えられた職務の中での「強靱さと強かさ」と誠実さをお話になりました。

来賓挨拶として、神田真秋県知事代理、河村たかし市長代理の方々にお言葉をいただき、引き続き県議会議員の皆様を紹介をし、代表として岩村信次様よりお言葉をいただきました。

表彰者披露、祝電披露に続き、日本建築構造技術者協会中部支部長 大野富雄氏の「乾杯〜!」により、和やか宴会へと移りました。

今年の余興は、ソプラノサクソの演奏でした。日本設計の鈴木達也さんと奥様(ピアノ)にお願いいたしました。ケニー G を髣髴とさせるテクニックにアンコールの歓声が起こり、赤い鳥の「翼をください」でステージを終えました。

美味しい食事と音楽の中、会場のあちらこちらでは楽しい会話と名刺交換がおこなわれました。

会の締めくくりに、待ちにまった大抽選会がはじまりました。1 等から 6 等まで、21 個の景品が用意され、コンパニオンの取り出す名刺の読み上げに、あちらこちらでは狂喜乱舞の雄叫びと残念との諦めのため息が流れました。当積算協会が不思議なことに 4 等をのぞく全ての商

品を手に入れました。6 等のキューブデスクスタンドが日本設計の桑名さん、5 等の携帯箸が二葉積算の中川さん、同じく 5 等のマグカップが中建設計の堀田さん、3 等のマイナスイオンドライヤーがみどり建築企画の水野さん、2 等の縦型サイクロンスティッククリーナーが I P S の藤曲さん、同じく 2 等の折りたたみ自転車秀和工業の上竹さん、ついに 1 等です。スチーム I H ジャー炊飯器がみどり建築企画の藤井さんに当たりました。21 商品の内、7 商品があたりました。

最後に、来年主催幹事愛知県設備設計監理協会の会長 村上正継氏のご挨拶と一丁締めで閉会となりました。

今年の司会は飛びっきり可愛い小原佳代子さんでした。皆さん、楽しんでいただけましたでしょうか。

八団体紹介

- (社)愛知建築士会
- (社)愛知県建築士事務所協会
- (社)日本建築家協会東海支部愛知地域会
- (社)日本建築学会東海支部
- (社)日本建築協会東海支部
- (社)日本建築構造技術者協会中部支社
- (社)日本建築積算協会東海北陸支部
- (社)愛知県設備設計監理協会



景品の山をバックに集合〜!!

建築積算資格者更新講習会

資格制度委員会 委員長 林 進

新年あけましておめでとうございます。平成21年10月25日に建築積算士一次試験と建築コスト管理士試験が名古屋市の昭和ビルで実施されました。受験者数は建築積算士一次試験が12名、建築コスト管理士試験は4名でした。建築積算士二次試験は平成22年1月24日に実施予定です。

平成21年度 建築積算士（建築積算資格者）更新講習は次のように実施されました。

金沢会場：石川県地場産業振興センター

10月24日 受講者数 78名

挨拶 (社)日本建築積算協会 東海北陸支部
副支部長 碓谷 智彦

総論 (株)みどり建築企画

代表取締役 藤井 正王

第一編 「数量単価のチェックとコストコントロール」

副支部長 碓谷 智彦

(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部

課長 山田 治

第二編 「建築生産に係る社会環境の変化と新技術」

(社)日本建築積算協会 東海北陸支部

専任講師 塚田 律夫

静岡会場：静岡商工会議所

11月21日 受講者数 68名

挨拶 (社)日本建築積算協会 東海北陸支部
副支部長 碓谷 智彦

総論 (株)円建築積算

課長 伊藤 和洋

第一編 「数量単価のチェックとコストコントロール」

副支部長 碓谷 智彦

(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部

課長 山田 治

第二編 「建築生産に係る社会環境の変化と新技術」

(株)フジタ 名古屋支店 積算部

部長 勝野 徹



碓谷講師



塚田講師



静岡会場の様子

名古屋会場：ウィルあいち

12月 5日 受講者数 318名

挨拶 (社)日本建築積算協会 東海北陸支部
支部長 小野 徹郎

総論 (株)みどり建築企画
代表取締役 藤井 正王

第一編 「数量単価のチェックとコストコントロール」

副支部長 剛谷 智彦

生田一級建築設計室

代表 生田 孝文

第二編 「建築生産に係る社会環境の変化と新技術」

国豊積算(株) コスト計画部

部長 伊藤 健蔵



生田講師



伊藤講師



支部長挨拶



藤井講師

金沢会場、静岡会場は机が用意できましたが名古屋会場は大ホールのため膝の上でテキストを見ながらの受講でした。大変ご不便をおかけしたと思っております。また名古屋会場は会館内、敷地内、全て禁煙となっておりますので愛煙家の方には我慢をしていただきました。各会場とも更新講習進行にご協力くださりましてありがとうございました。

平成21年度の更新講習よりeラーニング(インターネットを使った教育形態)が導入されました。開催当日都合により受講できない方、会場が遠く不便な方、忙しくて時間がとれない方などはeラーニングが大変便利です。事務所や自宅で時間が空いたときにインターネットの配信画像を利用して受講することができます。また遠隔地の方は交通費や宿泊費などを削減することができます。詳しくは積算協会のホームページをご覧ください。

積算教育のモデル年度をほぼ終えて

教育委員会 委員長 藤井 正王

今年度から学校向けに積算協会作成のテキストによる積算授業がスタートしました。モデル校として4校を指定し、協会作成のテキストによる授業を行いました。試験もすでに2校終了していますし、残り2校も1・2月には実施します。すでに中国四国支部では建築積算士補登録者も出ております。モデル校の状況を報告いたします。

●名古屋市立工芸高等学校

3年生対象に、週1回50分授業1年間通して行いました。授業時間数は43.5時間で殆どが、担当教諭である深見先生が行いました。協会からは2回社会人の話を聞く目的で要請があり派遣しました。実技の授業も多く実施できたそうです。建築積算士補試験は1月28日(木)に行われました。本来先生が主導で行うような授業を目指しておりますので理想的な形と思います。

●静岡県立浜松工業高等学校

3年生対象に9・10月に50分授業3回を5日行いました。授業時間数は12.5時間です。すべて協会からの派遣講師で実施しました。また建築積算士補試験は11月11日(水)に行われました。やはり時間的に不十分だった事は否めないと思います。実技授業を躯体・仕上各々1日(50分×3回)行いましたが、その分他の講義への影響は出ていたと思います。そのため練習問題用の勉強は自宅だけとなってしまいました。来年はもう少し時間を増やして頂くようにして貰いたいです。

●東海工業専門学校

2年生対象に2クラス10月から毎週1回50分授業2回を6日行いました。授業時間は10時間となります。すべて協会からの派遣講師で実施しました。浜松工業よりさらに少ない時間数となりました。当初東工専では積算の授業が行われていると聞いていましたが、やはり理解度から言っても

かなり不足していると思います。建築積算士補試験は12月10日(木)と12月15日(火)に行われました。来年は積算の先生が主導で授業を行って頂き、正規授業としてこの授業を捉えていただきたいと思います。

●愛知産業大学

3年生及び4年生対象に10月から毎週1回90分授業を11日行いました。授業時間数は16.5時間です。すべて協会からの派遣講師で実施しました。実技時間を5日行い、初日は協会の用紙に書く書き方が分からないレベルでしたが、3日目になると多少理解しているような状況までになったと思います。建築積算士補試験は1月15日(金)に行われました。時間的にはやはり愛産大で実施した16.5時間以上は必要と思われます。

将来は建築経済の学部を創設しその中で建築積算を教えて生きたい意向があり、初年度としては良かったのではないかと思います。

順調にスタートした、今年度の積算教育ですが、今年一年で色々な問題が出ました。まずは授業時間の不足、やはり16.5時間以上が基本となると思います。次に講師派遣の手配ですが、仕事を抱えている人にはかなり負担になるため、来年度からは一部時間的に余裕のある協会役員の中からも講師を依頼しようと思います。そして、授業を行ってみて、このテキストは積算の概論としては非常に優れていますし、先生もかなり理解し授業を行えると思います。但し実技に関しては協会からの派遣で対応する事になると思います。

来年何校の新規参加があるかは不明ですが、対応できる体制を整えたいと思います。

講習委員会報告及びPR

講習委員会

委員長 剛谷 智彦

今年度の講習会は、5・6月に「初級建築積算研修会」を名古屋・金沢・静岡の3会場で、7月には「建築数量積算基準・同解説（平成18年版）」の講習を岐阜・富山・名古屋・静岡・豊橋の5会場で、8・9月に「建築積算のチェック手法」を名古屋・松阪・浜松・金沢の4会場で各講習を実施致しました。

「初級建築積算研修会」を除き定員に満たない講習会となり、委員長として反省はしていますが、名古屋だけでの講習会開催でなく、地方の方にも時間、交通費等の負担をできるだけ少なく出来ればとの思いで地方開催に重点をおいてきました。

特に、「建築数量積算基準」は当協会が責任を持って皆様に伝えなければならない講習と考えており、受講者数は少なくとも来年度もこの方針は変える事無く続けていく予定でいます。現段階では来年度の講習は未定ですから、「建築数量積算基準」だけでなく、こんな講習会をしてほしいという要望があれば当支部までご一報下さい。

そして、10月に「耐震補強（躯体）の実技講習」と「仮設計画シュミレーション」の講習、11月には、「企画・基本計画段階の概算」と新企画の講習を名古屋で実施致しました。

何れの講習も多くの方から参加申し込みを頂き、「耐震補強の実技講習」は定員をオーバーし、直前に講習会場を変更するという事態になる程でした。

新企画の各講習会は、PR不足ではありましたが、多くの方に参加して頂いたのは、皆様の要望と企画の内容が一致したものと思われまます。この企画は、来年度早々に北陸でも開催する予定ですから、北陸の多くの方の参加をお願い致します。



次に、平成19年に積算事務所だけを対象にして開催した「ここが知りたい積算勉強会」が、平成20年6月からは、「新ここが知りたい積算勉強会」として、この1月で36回を数えます。この勉強会の内容は当支部のHPを見て頂ければわかりますが、

- ・従来の一方通行的な講習会と違い、参加者主導の勉強会です。
- ・座談会型式の気軽に参加できる勉強会です。
- ・新人も中堅もベテランも、今更聞けないことってありませんか？
- ・他の会社はどうしているのか、チョット知りたくないですか？

講師として、テーマに関係のあるメーカーの方とか、日常業務の中での実体験の話等を経験豊富な支部役員を講師に迎え、夕方から二時間程度の勉強会です。4月の第40回までテーマと日時は決定していますが、41回目からは、隔週開催を、3週1回の開催に変更して継続する事が決まっています。是非多くの方に参加して頂きますようお願い致します。

又、この勉強会は、本部講習委員会でも注目を集めており、各支部でも検討事項となっている講習の一つである事から、当支部としても他支部に負けまいよう、内容のある充実した勉強会にする努力をしますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

お願い事ばかりになりましたが、2月20日（土）に今年度最後の講習で「建築改修工事の講習」が予定されています。

データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 植田 隆明

寅歳にまつわる言葉を探してみました。

- ・ 虎穴に入らずんば虎子を得ず
- ・ 虎視眈眈
- ・ 前門の虎、後門の狼
- ・ 虎の尾を踏む
- ・ 虎の威を借る狐
- ・ 虎の子
- ・ 虎は死して皮を留め人は死して名を残す
- ・ 虎を野に放つ
- ・ 虎は千里往って千里還る
- ・ 張り子の虎

まだまだありそうですがこのくらいにして、みなさんの人生における格言となる言葉はどれでしょうか。

データベース委員会の活動状況をご報告いたします。

1. ここが知りたい勉強会の質疑回答資料のデータ化は進行中です。
2. 建築総合展での木造住宅耐震改修概算相談会は7名の参加がありました。
3. 学校建築の将来解体時建設副産物のデータ化はサンプル数67件のご提供をいただき現在分析作業中です。多数のご提供に感謝申し上げます。
4. 積算結果表のフォーマット作成は素案が出来上がりシミュレーション作業中です。『コストデータ表』とネーミングしました。

以上進行中の各作業は平成22年3月末を終了予定としています。

データベース委員会では会員の皆様のご要望をいただき使えるデータベース構築を進めてゆきたいと思っています。忌憚のないご意見ご要望をお願いいたします。

総務委員会だより

総務委員会

委員長 川辺 清次

新しい年を迎えるに当り、当委員会は年末から年始にかけて、まず12月中に本部に提出する今年度の決算予測と来年度への概算予算書の作成である。

特に来年度予算は支部交付金の変更に伴い新規に組み立て直す作業があった。特に今迄ボランティア的精神に頼っていた交通費については、本部の指導もあり、今迄市内交通費がゼロであったが本部に慣い、少額ではあるが一律支払う予定である。又、教育事業において今年度はモデル校の試行期間でもあって講師派遣も奉仕的な意味合いがあったが次年度からは予算化しようと思っています。

以上の様にほんの一例ではあるが、各委員の方々の奉仕的、ボランティア的部分を僅かではあるが是正の一步の年度にしたいと思っています。

勿論、役員、委員はボランティア精神を堅持する事に変わりありません。

さて次に本部で3~4ヶ月に一度ある総財務委員会報告です。まずは公益法人化問題です。

10月の会議で平成22年度の総会への結論は見送る事となった。今後は一年毎に判断していく。昨年11月27日現在、公益法人化認定状況は82件で建設関係団体は1件もない。いずれにしても他団体の意向、会員や資格者にとってメリット、デメリットがあるかどうかの検討が必要である。又、公益法人への移行は簡単ではない。10~15%位しか認められないようでハードルが高い支出の50%以上公益活動で、財政が安定しているのが条件の様で、今後、機会毎に報告いたします。

設計審査委員会だより

設計審査委員会
委員長 西田 彰

岐阜県の設計審査が「義務」から「指導」へと変わってから2年と9ヶ月、久々に審査依頼がありました。ということで、久々の設計審査に手ぐすねを引いて設計書の届くのを待っていましたが、あれあれ、何から始めてよかったのやら、手順・段取りが思い出せず、以前のスケジュール表やらチェック表、いろいろ資料を引っ張り出し、しばらく眺めて思い出し、やっとエンジンがかかったという状態でした。今回は、多少の図面と設計書の食い違いはあったものの、よくまとめられた設計書でした。合格!!!

設計審査とは別の話です。しばらく前に、2ヶ所のお役所の積算担当から同じことを言われました。「最近、積算の出来が悪くて困っているが、何とかならないものだろうか。」原因としては、いろいろ考えられます。偶然にも同じ頃、逆の立場の方からお話を伺いました。安かろう悪かろうを承知の上でのお話です。

「どうせウチ(設計事務所)は、拾った図面と提出した図面は合っていないんだから、積算料金を高く払って精度の高い積算をしたって無駄かも。間違いが見つかったら、誤ってすぐ対応すればいいんですよ。安い積算料金を100個間違えても、高い積算料金を払ったからといって間違いが無いわけじゃないし。すぐ修正すればいいので、わざわざ高い積算料金を出すことも無いんですよ。」

啞然!!! 積算業務が、その程度にしか受け止められていないのは残念です。積算をする側にも非がないわけではありません。「積算料金が安いので適当にしか対応できない」「チェックする暇なんてない」「いくら間違えても頭を下げて修正すればチャラなんだから」と思っている方はいらっしませんか? 我々の地位向上・積算料金アップの為にも、良い商品作りをしませんか。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会
(有)富士積算 小中 利文

新年明けましておめでとうございます。

去年は日本経済全体が厳しい年でありました。建設業は以前から既に厳しい状況の様な……。めげずに今年も頑張ってくださいませ!!!!

さてさて皆様、協会のホームページを見る機会が数年前に比べ、多くなったのではないのでしょうか。ホームページの内容も情報量が多くなり、充実してきているのではないのでしょうか。まだじっくり見ていない方はどうぞご覧下さい。新しい発見があるかもしれないですよ。

パソコンが一般家庭でも普及しだしてから、年を重ねるごとに紙からパソコンのモニターへの移行がかなり進んできたのではないのでしょうか。販売店のチラシや、善し悪しはあると思いますが年賀状すらもメールの時代、この先もいろいろな事が移行してもっと増えていくと思います。

仕事でも鉛筆を使うくらいにキーボードやマウス操作が重要になってきました。操作に慣れると、こうなればいいのに、ああなればいいのにと不満が出てきます。

ということで、、、

ホームページを開いて下さい。

見る操作をして下さい。

読んでみて下さい。

不満や要望をメールで下さい。

出来る限り改善していきます。そうすればもっと見たくなるようなホームページに変わっていきませんか? と思います。

皆様のご協力をお願いいたします。

松田先生の死を悼んで

日本建築積算協会 顧問

杉浦 譲治

このところの支部報に松田先生に関わる原稿を書いているのは昨年7月沖縄で開催された当協会の全国大会における松田先生の基調講演の内容に大いに触発されたからである。今回もその続きを書こうと思っていた矢先、9月に松田先生の訃報が突然飛び込んできた。

1922年生まれの87歳のご高齢ではあるが全国大会でお目にかかったあのお元気の様子から想像も出来ないことであり、また一つ積算協会は大いなる大先達を失ったことに愕然とした。私は現在もなお積算協会の今日あるのは宮谷前会長ら先達の偉大な熱意と情熱によるものであることは勿論であるが、組織論における松田先生、積算理論の岩下先生（当時法政大学教授）の功績は忘れてならないと考えている。

平成19年2月、協会の財政が極度に逼迫し、会議に出るたびに財政立て直しがかばれていた当時松田先生から頂いた書状が手元にある。すでにお許しを得るべきご本人がみえないので私の責任で一部をお伝えしたい。

「要は金が不足だから、財政立て直しのために会員をまったく抜きにし、あたかも企業が不況の時リストラを主として乗り切ろうとした、あれと同じと思う*****に呆れているところです。会は会員が作り上げ、会は会員のためにそれを通じて社会公益のためにでなければならぬ本義がまったく行方不明です。これを誰が修正できるのでしょうか。—中略— 私は全体の建て直しについては、支部が現場で苦勞している実績を基にした事業計画とすべきが第一点、（先生は企業における本社と違い、常駐役員のない団体の本部は実体がないとかねがね言っておられた。）—中略—」と書かれて、本部事業のコストスケールの一年間の休止や、資

格制度の見直しについても触れられている。また、「建築社会のニーズとして、積算の必然性のキャッチとこれへの対応、特に川上での建築コストの正確さはどうすれば求めることが出来るのかは現在社会が一番要求しているはず、これの追及など積算のプロパーの方向付けこそが協会の存在価値である。」とも書かれている。

データの収集が難しいとって放棄してしまったコストデータベースの構築についても、先生は全国大会の基調講演で次のように興味ある発言をされている。

「建設業界に蓄積されている膨大な積算のノウハウを企業秘密としてなかなか公開されないが、後生大事にしていたノウハウが気がついたら非常に遅れていたという事例は多い、開発したノウハウは積極的に公開すべきで、そうすれば切磋琢磨というものがでてくる、これが業界全体のプラスになり企業にもプラスになる。建設業のかたがたがお持ちの積算のノウハウを積極的に公開してください。そのときに積算協会を使ってください」。

数々の提言を残して先生は逝ってしまわれました。先生のご遺徳を偲ぶ会は、さる11月19日福岡において先生のご功績やご交遊の広さを表すように、多彩な参列者の中でしめやかに行われた。

残された我々は何をなすべきか？今もなお先生に問いかけられている気がします。



(松田先生を偲ぶ会の写真)

第39回建築総合展NAGOYA2009

新時代への提案Ⅱ

「木造住宅耐震補強工事費用 相談会」 報告

(社)日本建築積算協会 東海北陸支部 担当 林 進

建築業界の最新情報、動きを体験できる「第39回建築総合展NAGOYA2009」が開催され、当積算協会もデータベース委員会を中心に「木造住宅耐震補強工事費用相談会」を下記の内容で実施いたしました。

日時：平成21年10月8・9・10日

10:30～17:00

場所：吹上ホール 建築八団体連絡会ブース

担当：林進・植田隆明・碓谷智彦・佐藤佳久
建築士(耐震相談員)

後援：愛知県、名古屋市

相談実施 7名



診断の様子

最初に建築士の方から耐震診断書を参考に相談者へ診断内容及び耐震補強方法などの説明をしてから積算協会が耐震改修概算工事費の運用目的、算出方法の説明、概算シートを使って工事費の相談を受けました。



診断の様子

今回の建築展のテーマは「新時代への提案Ⅱ」ということで会場は、他にも建材・部材関連ゾーン、インテリア・内装関連ゾーン、エクステリア・緑化関連ゾーン、セキュリティ関連ゾーン、設備・システム関連ゾーン、設計・工事・メンテナンス関連ゾーン、業務支援・サイングラフィックス関連ゾーン、行政・その他関連ゾーンに分けられそれぞれテーマに基づいた展示がなされていました。

又、大手ゼネコン5社の最新技術展示コーナーが下記の内容で展示されていました。

大林組：3Q-Wall (耐震壁)

鹿島建設：これからの知識創造型ワークプレイス

鹿島技術研究所・新実験棟

清水建設：シミズドリーム (未来構想)

—環境アイランド GREEN FLOAT—

大成建設：大成建設の最先端省エネルギーソリューション

竹中工務店：耐震7クラスの地震に耐える

新構造システム建築物の開発

平成22年1月

会員各位

社) 日本建築積算協会東海北陸支部

総務委員長 川辺 清次

会員委員長 佐藤 佳久

ナゴヤドームへ野球観戦にいこう

“新年明けましておめでとうございます” 新しい年の始まりとともに全てが活発に動き出す今日の頃です。

さて、本年もナゴヤドーム・ライト側外野指定席を会員の皆様にご提供いたします。

ご希望の試合日を下記要領にしたがい記入して支部事務局まで、FAX 又は E-mail でお申込みください。ただし、会員（平成22年4月1日現在）に限ります。

会員一人一試合のみ（2席分）とし、複数申し込みをされた場合は無効とします。

下記用紙を利用し FAX で申し込まれても結構です。多数の応募をお待ちしています。

なお、平成22年度公式戦応募枠日程は3月上旬に東海北陸支部ホームページの会員サービスに掲載します。（<http://bsi-th.052e.com/>）

—記—

1. 申込日 月 日 (曜日) 中 日 × ()

2. 申込者 氏 名 会員番号 ()
住 所 〒

電 話

3. 締切日 ホームページに掲載します。

◇ ご応募者が多数の場合には抽選とし、発表はチケットの発送をもって発表にかえさせていただきます。

4. 申込先 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3番26号 昭和ビル2階
(社)日本建築積算協会 東海北陸支部事務局 宛
電話(052)264-0661 FAX(052)264-0662
メールアドレス: toukaihokuriku@bsij.or.jp

忘 年 会

広 報 委 員 会

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月17日(金)に中区役所B1F嘉文において総勢48名参加の忘年会が行われました。

例年と同様、忘年会の前に昭和ビル9F会議室にて役員会も行われ、新しい資格の建築積算士補及び今後の協会の方針などとコスト管理士の試験及び面接等の報告と各委員会及び部会報告があり、忘年会の場所へ移動しました。

忘年会では先ず、支部長より一昨年から続いている金融危機による建築界の状況、就任3年目の協会における活動に対しての挨拶があり、藤井副支部長の乾杯の音頭により忘年会が始まりました。



歓談中



歓談中

各テーブルでは1年間の委員会活動に対する労いの言葉などもあり、そして今年度改選になる各委員会の話など、1年間の各委員会活動に対して、又、現在の状況など話しながら1年をお互い振り返っていました。

又、今回は当協会の講習委員会で行っているここが知りたい積算勉強会に参加されている方、協力業者の方も参加され例年よりも盛り上がった宴席でした。



勉強会参加者

宴会の途中くじ引きによる抽選会もあり、商品が当たった方もそうでない方も参加賞を貰い、参加者は大いに盛り上がった会場でした。



抽選会

川辺副支部長の中締めにより約2時間の忘年会は終了し、2009年の積算協会の行事は無事終了しました。その後は皆さんは夜の榮に消えて行かれました。

最後に各委員会の方々に1年間のご協力を頂きましてありがとうございます。

三日間の貴重な体験

建築科 13 番 小島紗也華
 建築科 28 番 牧野 円香
 建築科 30 番 宮城めぐみ

私達は、三日間のインターンシップという貴重な体験を通してとても自分の為になる経験をしました。

一日目は、初めての会社訪問、そして三日間働くというプレッシャーでとても緊張していました。けれども、事務所の方は快く私たちを迎えてくださったので少し緊張がほぐれました。物件の保管棚の作成を一時間ほどし、某会館の解体工事のエクセルでの打ち出しを午前中の残り時間と午後からしました。物件の保管棚は棚を作るのは初めてだったのでとても時間がかかり苦労しました。けれども、友達と協力して完成させることができたのでとても嬉しかったです。某会館の解体工事のエクセルでの打ち出しは、パソコンと向き合う時間がたいへん長く、目がとても疲れました。そして、初めて大量な紙の束を見ました。その紙の束を建物を作る人が読むのも大変だろうし、その工事内容をエクセルで作って印刷する積算士さんも大変だろうと思いました。そして、パソコンと一日中向かい合うことは慣れるまでが大変だと思うし、目がとても疲れると思いました。

二日目の午前中は文字の記入法や数字の位取りについて所長さんに教えてもらった後、某住宅建替の設計図の確認をしました。そして午後からは積算をする為のノウハウとしての準備作業の設計図書のチェックをしました。午前中、文字の記入法を所長さんに教えてもらって今日から実行しようと思うことができました。数字の桁をそろえたり文字を濃く書いたり文の幅をそろえたりする基本中の基本ができていなかったことが悔しかったです。某住宅建替の設計図百三十七枚の確認をしたり、平面図に、断面位置の矩計図や詳細図、断面図を見て切断位置を記入したり、積算を始める準備段階として特記仕様書と仕上表の照合をしました。百三十七枚の設計図はびっくりするほどの厚さでした。この紙の厚さをひとつの建て物に使

われると思うととても驚きました。平面図に切断位置を記入するときには図面の読み取りがよくわからない部分もあったのでしっかりとおさらいしなければいけないと感じました。積算を始める準備段階では、特記仕様書を読みました。特記仕様書は注意事項に似ていて、たくさん重要なことが書いてありました。もし、このことを読み落とすと初めからまたやり直さないといけないからとても時間がかかり、大変だなと思いました。

三日目は、某住宅建替事業の住居内の積算をしました。一番初めに住居内に使う材料を色分けや記号化しました。色分けや記号化が終わった後に2LDKの各部屋の積算をしました。一回目の説明では理解できなくて事務所の方に迷惑をかけてしまいました。積算の仕事は、とても細かく計算の多い仕事でした。2LDKの部屋の積算をしたときは午前中の作業では一枚しか仕上げることができませんでした。それほど大変な計算を事務所の方は協力して仕上げているからチームワークがとても大切なのだと強く思いました。

三日間を通して学ぶことがたくさんありました。働くことの大変さはもちろん、一つのことを仕上げるには、たくさんの人の力が集まって初めてできあがるのだということ、そしてそのためにはチームワークが大切だということです。そして三日間の貴重な体験を通して私には今、人の話をきちんと聞いてその場でしっかりと理解する力が必要だと思いました。

事務所から学んだことは、もっと読解力をつけて文章の重要な所を見落さず読むこと、数字の桁をそろえて誰が見ても見やすいようにすること、書類は、コピーしても見やすいように濃い文字を書くこと、文字の幅をそろえて見やすくすること。以上のことを気をつけてこれから頑張りたいと思います。たくさんのことを学ばせてくださった企業の方にはとても感謝しています。

インターンシップを終えて三日間ありがとうございました。

北陸部会だより

北陸部会 笠谷 正

◆ 21 年度 9 月以降の北陸部会の活動報告

- ① 8 月 25 日～9 月 29 (火) 月 2 回
18:00～20:00
富山県解体工事計画の勉強会
- ② 9 月 4 日 (金) 小松市民センター 第 2 回
RC 実務積算初級編 13:30～16:30
- ③ 9 月 19 日 (土) 金沢勤労者プラザ
建築積算チェック手法 13:30～17:00
- ④ 9 月 26 日 (土) 近江町市場館
現場施設見学研修会 13:30～15:00
- ⑤ 10 月 6 日～10 月 27 (火) 月 2 回
18:00～20:00
富山県解体工事計画の勉強会
- ⑥ 10 月 3 日～17 日 (土) 富山県新川・黒部
積算実務勉強会 13:30～16:30
- ⑦ 10 月 10 日 (土) 近江町市場館研修室
第 4 回役員会：金沢勤労 4:30～16:30
- ⑧ 10 月 24 日 (土) 金沢地場産業振興センター
平成 21 年度建築積算資格者更新講習会
- ⑨ 11 月 6 日 (金) 小松市民センター 第 3 回
鉄骨積算初級編 13:30～16:30
金沢：金沢勤労者プラザ 17 名出席
- ⑩ 11 月 10 日～11 月 24 (火) 月 2 回
18:00～20:00
富山県解体工事計画の勉強会
- ⑪ 10 月 3 日～17 日 (土) 富山県新川・黒部
積算実務勉強会 13:30～16:30
- ⑫ 10 月 3 日～17 日 (土) 富山県新川・黒部
積算実務勉強会 13:30～16:30
- ⑬ 12 月 5 日 (土) メルテ金沢
北陸部会忘年会・役員会

なお 1 月 15 日に建築工事内訳書の構成・作成の勉強会を予定しています。

平成 15 年 10 月に北陸部会が発足して、6 年を経過しました。その間“建築積算資格者更新講習”を中心として活動してきましたが、漸く研修会・勉強会が定着してきました。これも宮西講習委員の個人的な力に依るもので、北陸部会の総合的な力の結集をしなければなりません。北陸部会の研修会・勉強会に出席されている若い皆様の中から次の世代の部会を担う人材が育ってほしいと思います。

◆ 現場施設見学会

昨年 の 第 1 回 現 場 見 学 会 (いしかわ総合スポーツセンター) に続いて本年度は近江町市場館の自主企画研修会を役員会をかねて開催しました。この企画は大嶋建築企画研究所の大嶋寛則さんの紹介で実現しました。金沢市民の台所として古くから親しまれてきた近江町市場館が 4 月にグランドオープンしました。(金沢市武蔵が辻第一地区市街地再開発事業施設建物) 建築的にも歴史的な北國銀行の建物を営業しながら、曳き家工事によって保存し新築建物に取込んだ工事として興味深いものです。当日は近江町市場管理会社の岸博之氏に多数の資料をもって以下のご説明をして頂きました。

- 市場開発の概略経緯と建物概要
- 市場のオープンによる武蔵が辻の活性化の思い
- 全国の再開発事業の比較と今後の展開

近江町市場館のグランドオープンにより、ここを訪れる人並みが溢れ、金沢観光のひとつの核として武蔵が辻の活性化に多いに寄与している様子が伺えました。



講習会の様子

静岡部会だより

(株)アイピーエス 積算部 藤曲 充信

新年、おめでとうございます。今年も日本建築積算協会東海北陸支部をよろしく願い申し上げます。さて、百年に一度の不況といわれる一年が過ぎ、現実をまざまざと実感している今日この頃です。しかし、不況、不況と嘆いているだけでは何も解決致しません。こんな時こそ原点に立ち戻り、業務改善・コストダウン・社員教育と、考えればやる事は山ほどあります。先ずは足元を確り固める事が肝要かと存じます。県内の建設業界の皆様も、常にプラス思考で物事を考え、共に頑張ろうではありませんか。静岡部会の主だった活動は積算協会の教育委員会と県立浜松工業高校学校のお力添えを得ながらの「積算授業」です。毎年積算授業を実施しております。前月号でもご紹介しましたが、積算授業の開催日は、9月8日(火)、9月15日(火)9月29日(火)、10月6日(火)、10月20日(火)に50分授業(12:30～15:20)を行い、毎回は3時間授業を実施致しました。又、11月11日には、高等学校では全国初の「積算士補」の学科試験を行い、昨年末にはおおよその合否が出ていますので、結果を楽しみにしております。

平成21年度も終わりつつありますが、静岡部会としましては、県立浜松工業高等学校に続き、第二第三の学校での積算授業を開催出来ます様に、今後の活動に努力して参りたいと思っております。支部報を読まれた学校並びに教育関係者の皆様におかれましては、積算授業を通して建築積算の全般的な基礎知識と、建築数量積算基準や建築積算の実演までを生徒の皆さんに経験して頂き、且つ積算士補の資格に挑戦し、自己啓発への足懸かりとして頂ければ幸いと存じます。積算授業を受けられ浜工生の皆様には、若さとパワーを頂き、誠に有難うございました。

就職・進学をされる方々のご健闘をお祈り申し上げます。

岐阜部会だより

生田一級建築設計室 生田 孝文

平成21年12月18日(金)の午後6時30分より、JR穂積駅北口にある「市橋屋」にて岐阜部会の平成21年度忘年会を、山本三河部会相談役を来賓として迎え、合計12名の参加により開催しました。

近年の建築業界の冷え込みに嘆きつつも部会員の親睦を深め来年こそは頑張りましょうと、三河部会にも改めてご挨拶に伺いたい、勉強会を共同で開催したいと盛り上がりました。

今年度の事業計画は、下記のとおりです。

平成21年度事業報告

平成21年4月15日(水)岐阜部会総会 13名
7月4日(土)役員会 松葉欧羅巴館6名
8月30、31日(日、月)研修旅行中止
11月11日(水)役員会松葉欧羅巴館6名
12月18日(金)忘年会12名
平成22年2月17日(水)反省会及び22年度予定

積算教室報告

於 岐南町公民館
7月24日、31日、8月7日
金曜日の 10時から17時まで
三日間で行いました。

尚、本年度の研修旅行は昨年8月に岐阜部会員の松岡貴敏さんが若くして、亡くなられた為に中止いたしました。ご冥福を祈っております。

まだまだ寒さ厳しき折ご自愛ください。



BSI 日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 小野 徹郎

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル9階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukaihoukuriku@bsi.or.jp
URL http://bsi-th.052e.com/

IPS

代表取締役

内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000-03 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415
IPS E-mail : ips@inh.co.jp
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長

住宅金融公庫特定業務
登録建築士事務所

生田一級建築設計室

設計・積算
設計室長 生田 孝文

〒501-6232 岐阜県羽島市竹鼻町東町1丁目3240
TEL (058) 392-0084
FAX (058) 391-7676

取締役 名古屋事務所 所長

小森 直樹

KOMORI NAOKI



Enishi C.M Office

株式会社 緑

名古屋事務所
〒460-0633 名古屋市中区錦1丁目18番22号
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-3969-0901
E-mail: komori@enishi-cm.co.jp
本社 福岡 事業所 福岡・広島・大阪・東京 営業所 大阪



株式会社 円建築積算

代表取締役 廣瀬 稔
MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算資格者・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市中区市場木町32
ITO BLD 2階
TEL 052(503)0366
FAX 052(503)0663
URL http://www.ennsekisan.gol.com

有限会社 川崎建築積算

代表取締役

川崎 外志男

建築積算資格者・一級建築士

〒918-8026
福井市洲4丁目205 ショッピングプラザFYビル
TEL (0776) 33-1890
FAX (0776) 33-1891
E-mail kawa-to@nifly.com

有限会社 金沢見積センター

代表取締役
建築積算資格者

あわ 粟 みる 紀 お 夫

〒921-8054 石川県金沢市西金沢4丁目615
TEL (076) 240-8281
FAX (076) 240-8443
E-mail:kmc-awa@muse.ocn.ne.jp

謹賀新年

斉藤 賢治



〒472-0011
愛知県知立市昭和 6-1-72-405
電話:0566-85-3217
携帯:090-2343-6625
E-mail:ksaitop@csiren.ocn.ne.jp



建築積算 下津積算事務所

建築積算資格者

下津 良一

〒459-8001 名古屋市緑区大高町己新田57-4
TEL 052-629-7570
FAX 052-629-7517
E-mail: shimotsu-ryoichi@mc.ocn.ne.jp

白木建築積算

白木 豊文

Toyofumi Shiraki

〒501-3152 岐阜市岩滝西3-72
TEL: 058-213-5879
FAX: 058-213-5878
E-mail: sks-toyo@coda.ocn.ne.jp

有限会社 高島建築積算事務所

所長 高島義昭

一般建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340
携帯電話 090-3293-6920
E-mail: takasima@aqua.ocn.ne.jp

株式会社 研谷建築積算事務所

代表取締役 会長 とき 研 谷 智 彦

代表取締役 社長 研 谷 将 紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844

(社) 全日本不動産協会会員 富山県知事 (1) 第 2807 号

TSC 豊田富山積算センター

代表取締役 笠 谷 正

(社) 日本建築積算協会会員 積算資格者

不動産部 取引主任者 登録番号 005426
〒933-0838 富山県高岡市北島45番地
電 話 (0766) 22-3366
F A X (0766) 22-3388
携 帯 090-1392-7876
E-mail tsc-tk@dream.ocn.ne.jp

株式会社 中野積算 名古屋支社

支社長 位 田 勝 彦

KATSUHIKO INDEN

建築積算資格者

社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋支社 名古屋市東区泉1-13-35 YH久屋ビル4階
〒461-0001 TEL 052(955)6961 FAX 052(955)6960
E-mail: k-inden@nakano-sekisan.co.jp
本 社 東京都杉並区伏見5-13-7
〒167-0051 TEL 03(3392)6121
支 社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 林 積 算

代表取締役 林 進

〒460-0008
名古屋市中区栄五丁目25番30号 金馬ビル4階
TEL(052)262-3781 FAX(052)262-3783
E-mail susumuh@aurora.ocn.ne.jp





建築積算・コストコンサルタント
Building Surveyor・Cost Consultant

有限会社 富士積算
Fuji Sekisan CO.,LTD

Satoh Yoshihisa
代表取締役 佐藤 佳久 建築積算資格者

〒460-0014 名古屋市中区富士見町13番22号 ファミール富士見2階
TEL (052) 322-7051 FAX (052) 322-7052
URL: <http://home.wandernet.ne.jp/~fuji/>



コストエンジニアリング&コンサルタント
株式会社 二葉積算
名古屋支社

常務取締役支社長
西田 彰
NISHIDA AKIRA 建築積算資格者

〒460-0003
名古屋市中区錦2丁目17-30 (河越ビル)
TEL 052-231-8336 (代表) FAX 052-231-6669
E-mail nishida@futaba-sekisan.co.jp
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>
本社/東京 支社/東京・大阪・広島・福岡・札幌



MATSUO たちあがる、未来へ。

取締役 設計積算部 部長
松平 久芳
一級建築士
h_matsuhira@matsuo-corp.co.jp
<http://www.matsuo-corp.co.jp/>

1509001 認定取得
JAB

株式会社 松尾工務店
〒918-8204 福井市南四ツ居1丁目1-14
TEL 0776-54-0640(代) FAX 0776-54-0561



株式会社 みどり建築企画

代表取締役
藤井 正王
FUJII MASAO

名古屋市中区上筒津2丁目8番14号 矢野ビル5階
TEL 052-323-1400 FAX 052-323-1404
〒460-0013 E-mail midori_kk@rio.odn.ne.jp



株式会社 棟 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫
取締役 和田 浩嗣
取締役 中島 達司
取締役 服部 欽守

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日旗丸の内ビル3階
TEL : 052-602-9525 代 FAX : 052-602-9526
E-mail : aamunecp@mvg.biglobe.ne.jp 代
URL : <http://www.mune-kenchiku.co.jp>
東京出張所 TEL : 03-5833-7481



MEIHO 明峰積算事務所

代表 宮西 繁
建築積算士 (管理建築士) 篠田 奈々

〒930-0861 富山県富山市有沢新町39
(總中事務所) TEL 076-425-7330
FAX 076-425-7363
(休日連絡先) TEL/FAX 076-491-9158
E-mail : s.miyanisito.yama@nifty.com



ヤマニシ建積プランニング

代表 山西 栄一

〒923-0977 石川県小松市額見町又2番地
TEL (0761) 44-2844 FAX (0761) 44-1450
携帯TEL 090-9446-1004
E-mail yamayama@tvk.ne.jp





株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 森口雅文
取締役 渡邊國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
<http://www.ito-aei.co.jp>

建築積算システム FKS	見積書作成システム KYOEI COMPASS
リニューアル用積算ソフト 	長期修繕計画表作成ソフト KLC

協栄産業株式会社 ソリューション営業部
〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318
【E-mail】 fks@kyoei.co.jp 【URL】 <http://www.kyoei.co.jp/fks>

SUENAGA CO. LTD.

代表取締役
末永治生

株式会社 末永製作所
〒501-0606 岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3
TEL.0585(22)0778(代)
TEL.0585(22)5451(直)
FAX.0585(22)2108

TOMOデータサービス株式会社

代表取締役
今岡朝和

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
TEL (06) 6351-8452 FAX (06) 6351-8925
E-mail : imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
TEL (03) 5816-7080 FAX (03) 5816-7081

お詫びと訂正

前回発送させていただきました支部報 No51 号で誤りがありましたのでお詫びいたします。
P22 新役員紹介の長谷川脩様の会社名に誤りあり、ご指摘の連絡をいただきました。

誤：(株)中建設計 設計監理部

正：(株)浦野設計 技術営業部

大変申し訳ありませんでした。

今後、この様なことがないように委員会一同で注意して掲載致します。

数年に渡り当協会ホームページ委員及び広報副委員長としてホームページそして支部報の発行に協力されていた松岡貴敏役員が昨年8月11日に逝去されました。
以前心臓を悪くし入院されましたが復帰して広報委員会にも出席し元気な様子でした。
しかし突然の訃報で誠に残念でなりません。
ここに改めてご冥福をお祈り致します。

平成21年版

公共建築工事積算基準

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

標準単価積算基準の改正と単品スライド条項、低
入札価格調査基準の運用についての最新通達を
収録!
定価8,500円(税込)

[平成19年基準]

公共建築工事積算基準の解説

【建築工事編】・【設備工事編】

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

【建築工事編】定価9,100円(税込)

【設備工事編】定価9,300円(税込)

新基準「公共建築工事標準単価積算基準」と「公
共建築工事共通費積算基準」等の運用に役立つ
解説、単価作成例を収録した最新版!

改訂3版

公共工事標準請負契約 約款の解説

編著/建設業法研究会

第11回改正(平成14年2月)、第12回(平成15
年2月)、第13回(平成15年10月)の改正を踏ま
えた最新刊!
定価3,675円(税込)

新訂第2版

わかりやすい建築基準法

編著/建築基準法令研究会

改正建築士法(平成21年5月一部適用)、改正省
工ネ法(平成21年4月施行)、長期優良住宅法(平
成21年6月施行)、住宅瑕疵担保履行法(平成
21年10月施行)、歴史まちづくり法(平成20年
11月施行)等にも対応!
定価3,990円(税込)

四会連合協定

建築設計・監理業務委託 契約約款の解説

著/大森文彦・天野禎蔵・後藤伸一

設計・監理業務委託契約に強くなるう!
平成21年7月改正の解説書!

定価3,700円(税込)

民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款の解説

編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

工事請負契約にも強くなるう!
平成21年5月改正の解説書!

定価3,300円(税込)

改訂20版

建設業の許可の手びき

編著/建設業許可行政研究会

平成21年4月1日より施行された様式の書き方
を解説した最新版!

平成20年1月、10月、12月、21年4月の省令改
正を収録!
定価2,310円(税込)

建築工事安全施工技術 指針・同解説

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
編集・発行/(社)公共建築協会

平成19年9月の改正を織り込んで全訂した最新
版!施工中の安全確保の必携書!

定価4,400円(税込)



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

基本機能

- ・月刊「建設物価」の約1.5倍の情報量
- ・「建設物価」5年分のデータを収録
- ・価格の変動率・変動額を表示
- ・必要なデータだけ登録・ダウンロード可能
- ・価格推移をグラフで表示
- ・ひとつのトークンで3台まで同時利用可能

追加機能

デジタル建設物価

- ・月刊「建設物価」がめくり機能で閲覧可能に

建設物価Mapサービス (地図情報)

- ・地図登録・書き込み機能付
- ・各種プラント等情報搭載
- ・2点間の距離検索

機能拡充

検索機能

- ・辞書機能拡充
- ・さまざまな名称でヒット
- ・積算体系リファレンス搭載

価格表示機能

- ・見やすい検索結果
- ・検索結果に価格詳細情報を表示
- ・製品写真により形状がひと目でわかる

もっと見やすく
もっと便利に!


Web建設物価 Ver.

<http://www.web-kensetu-bukka.jp/>

定期刊行物案内

実態調査による総合物価版

月刊 建設物価

- 毎月1日発行 / B5判 1部定価 3,799円(税込)
- 年間購読料(年12冊) 37,200円(税込・送料サービス)

印刷・用度・管理の実務誌

月刊 物価資料

- 毎月1日発行 / B5判 1部定価 2,250円(税込)
- 年間購読料(年12冊) 18,960円(税込・送料サービス)

土木工事市場単価情報誌

季刊 土木コスト情報

- 年4回(4・7・10・1月)発行 / B5判 1部定価 3,400円(税込)
- 年間購読料(年4冊) 12,000円(税込・送料サービス)

建築と設備工事の情報誌(建築工事市場単価掲載)

季刊 建築コスト情報

- 年4回(4・7・10・1月)発行 / B5判 1部定価 4,600円(税込)
- 年間購読料(年4冊) 15,800円(税込・送料サービス)

財団法人 建設物価調査会
事業普及部

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号(フジスタービル日本橋)

TEL 03-3663-4707 FAX 03-3663-4708

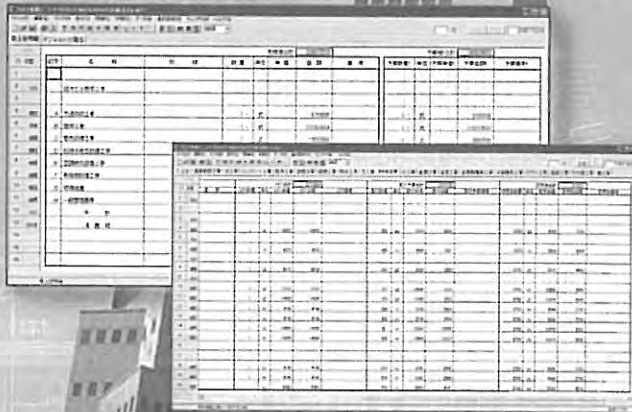
私たちは建設資材や工事費等の価格調査を通じて社会資本の整備に貢献しています

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

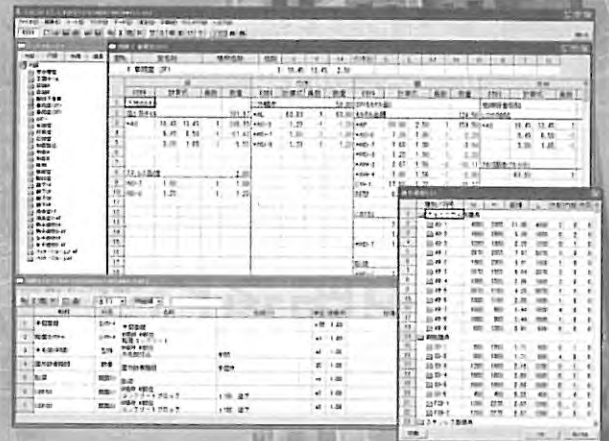
出荷本数7000本の実績! 明細書作成の超決定版!

Exa
TDS [見積]



超簡単仕上扱い

TDS [仕上]



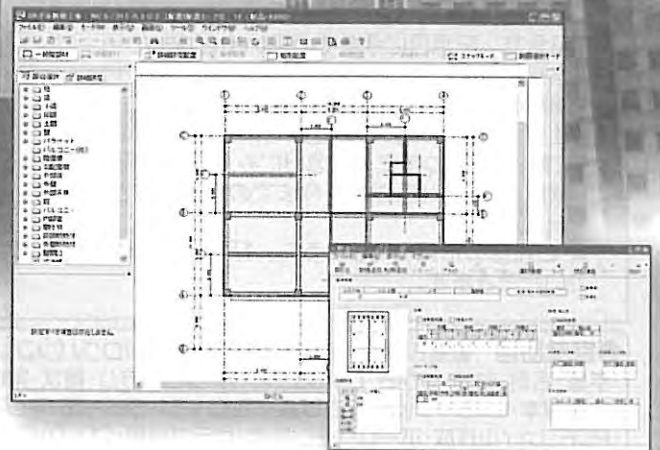
業界初! 耐震改修専用の積算システム!

TDS [耐震改修]



どんな建物にも対応

NCS / HEAIOΣ



TDS

TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

※NCS/HEAIOΣは㈱日積サーベイ社の商品です。

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081

プリンターやコピーで高いコストをかけていませんか？

そんなプリントアウトおまかせ下さい。

パソコンデータをお送り下さい。

大量にプリンターやコピーするなら印刷の方がキレイでお得です。

●目安はカラーで350枚以上あれば印刷の方がお得です。

詳しくは、お気軽にお尋ね下さい。

ホームページ作成

ホームページ更新されてますか？簡単更新ホームページや通販サイトの構築ご相談下さい。

メニュー作成

飲食店の皆様、メニューの更新はされていますか。メニュー業者に頼めばいいのですがコストが高い、自分でパソコンでやるとすると品質に不満が…。そんなお客様の要望に応え、コストを抑えればパソコンデータ入稿～メニュー製本で、また品質をもう少し上げたいなら弊社デジタル写真撮影～メニュー製本等、コストと品質に合った方法をご提案いたします。ラジメメニュー1枚から承ります。

写真撮影承ります

デジタルカメラでカタログ商品撮影、建物撮影、メニュー撮影、スタジオ撮影など承ります。

自費出版承ります。



あなたの人生を本にしませんか？

今までの人生を振り返り、今後の人生に生かしたい。また後に残る人々に自分の心の中の言葉を残したい。あなたの今まで生きてきた人生を本にしてみませんか？

- ・自分史…自分の人生を書きつづけた記録として…。
- ・写真集、画集…今までの自分の作品をまとめて…。
- ・記念誌…記念日に今までの思い出を集めて…。
- ・旅行記…大好きな旅行の思い出をまとめて…。
- ・闘病記…自分の生きている証を残すために…。
- ・社史…今までの会社の歴史をまとめ、後世に伝える…。
- ・文集、クラブの年史…記念日にみんなの投稿を集めて…。
- ・歌集、詩集、小説、論文…今までの作品をまとめて…。

■ご希望の形にそえるように、打ち合わせの上進めさせていただきます。

大判プリンター印刷

ポスター・看板・横断幕・たれ幕・POP
タペストリー・等々、大判出力いたします。



●屋外・屋内の看板・ポスターに最適！
(紫外線に強い顔料インキ使用。)

●UVラミネートを加工すれば効果倍増！

A2 (420×594mm) ~ A0 (841×1189mm)

¥3,500～ (UVラミネート加工別途1,300円～)

B3 (364×515mm) ~ B0 (1030×1456mm)

¥3,000～ (UVラミネート加工別途1,100円～)

データ持ち込みの料金です。

※写真の解像度は300dpiのCMYKデータにして下さい。

※書体はすべてアウトライン化して下さい。※プリントアウトをお持ち下さい。

デザインからデータ作成します。(別途料金)

イレパネ・ハリパネ加工も承ります。

(サイズによっては加工できない場合もあります。)

●営業品目 書籍印刷物・記念誌・会社案内・カタログパンフレット・チラシ・ポスター・メニュー・新聞・伝票類・フォーム印刷・メモ帳・手帳・名刺・封筒・はき・DM・カード・券・プログラム・賞状・案内状・シール・ラベル・しおり・包装紙・ビニール袋・カレンダー・のし紙・文集製本・CDジャケット・手さげ袋・パッケージ・タミー缶・マグネット・各種紙加工(折り、穴、ミシン、断裁、製本)・DTPデータ制作・PDFファイル作成・ホームページ制作・ビデオ編集・CD、DVD作成・オンデマンドプリント・大判プリントアウト・ラミネート加工…他

あらゆる印刷物のデザインから印刷・製本・コンピューター関連サービスまで

PRINTING & COMPUTER SERVICE



山田印刷所

☎012-012-2992

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417

URL <http://www.ymdp.jp/> 瑞浪市山田町510番地



三河武士のやかた



岡崎城大手門

編集後記

寅年 寅の刻 名古屋開府400年！

天文11年（1542）寅年12月26日の寅の刻に誕生した徳川家康の生誕の地『岡崎城』を表紙に、今年の寅年が昨年の政権交代による変化の年になるように。又、一昨年から続いている金融危機により経済全体が不況の波に落ち込んでいる中、『2010年、名古屋開府400年』が始まり、東海地区の活性化につながればと思わせます。

建築の業界でも一昨年に掲載した名古屋駅周辺の計画でJR東海計画及び日本郵政などの計画以外にも、名古屋ビルディングの建替えが昨年末に発表されていました。

広報委員会では名古屋だけでなく東海北陸地区で今回の支部報の表紙及び特集で掲載したように各地区の変貌を伝えると共に新たな表紙の内容を考え元気な名古屋、東海北陸の情報を伝えていく予定です。

本年も1年間の本誌のご愛読を宜しくお願い致します。

広報委員	松本 利治	西田 彰
	桑名 利男	吉原 光二
	堀田 淳二	長山 充裕
	松平 久芳	

支部報 『東海北陸』 No.52
 発行 社団法人日本建築積算協会
 東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
 昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://bsi-th.052e.com/>

発行日 2010年2月 吉日

積算・見積システム、 作業所コスト管理システム

FKS RC [RC数量積算システム]

伏図の操作性と計算根拠にこだわり、クオリティーを追求

- 計算根拠書を同時提供、公共工事でも豊富な実績
- 「伏図拾い」を行わずに「単一拾い」での積算も可能
- 土工事は総堀、壘堀、地下空間体積も自動で積算
- 鉄筋は実長（定着+継手）と定尺換算の算出が可能
- ボイド、機械式継手、定着プレート、カットオフなど最新工法へ対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込（オプション）
- 伏図データはDXFへ変換、施工図や根切計画図として二次利用が可能

FKS FN [仕上数量積算システム]

設計変更、コスト戦略にも威力を発揮する提案型システム

- 自動演算機能と自由な計算式を組合せた入力画面
- 図面データをマウスでポイント指定するだけで数量を自動計算（オプション）
- よく使用する計算パターンは登録が可能、入力・変換作業を大幅に省力化
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- タイプ別、区分別など一つの拾いデータからニーズに合致した集計が可能

KYOEI COMPASS [見積書作成システム]

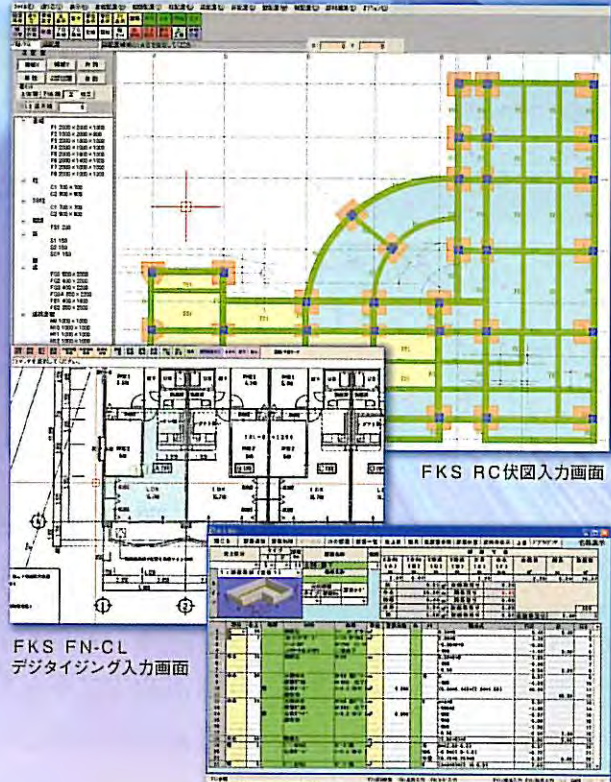
見積業務の効率化を最大限に追求したハイスベックな機能を搭載

- 1つの明細に対して数量、単価、金額が3つまで設定可能
- 提出、原価を脱んだ金額、数量、総額固定のシミュレーションが可能
- 単価マスター自動セット指示で値入作業の省力化を実現
- Excelとの双方向連動機能（計算式付加、シート分割、書式設定）を搭載
- 内訳データの共有化、一元管理で同一物件、同時作業を実現
- 任意な条件で名称、単価を一括検索し、一括セット・変更が可能
- 明細レベルで任意計算式のユーザー設定が可能

KiCS [作業所コスト管理システム]

現場毎の建築コスト削減を目的としたネットワーク型原価管理システム

- 実行予算書作成システム・・・見積データから実行予算データを自動作成
- 見積依頼・業者選定システム・・・電子データによる見積依頼と見積書比較で業者選定
- 発注管理システム・・・発注依頼と注文書を作成
- 出来高・支払査定システム・・・出来高の管理、支払査定と発注残高管理が可能
- 損益管理・進捗管理システム・・・正確かつ迅速に最終利益予想を出力



FKS RC伏図入力画面

FKS FN-CL
デジタイジング入力画面

FKS FN仕上拾い入力画面

5つのシステムがKiCSデータベースと連動



建築業務をトータルサポートする協栄産業の建築コストアプリケーション

積算実績比較システム **FKS SJ**

RIBCデータ連動ソフト **RIBC-Link**

リニューアル用積算ソフト



長期修繕計画表作成ソフト



※国土交通省ガイドラインの長期修繕計画様式に完全対応

積算といえば協栄産業におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS

検索

「積算 FKS」と検索してください

クリック!

協栄産業株式会社 ソリューション営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル

TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24

TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【資本金】31億6,181万円(2009年3月31日現在)

【総従業員数】1,310名(協栄産業グループ合計/2009年3月31日現在)

【株式上市】東京証券取引所 市場第一部(商業)

(社)日本建築積算協会賛助会員 建築積算事務所連合会賛助会員

(社)日本建築士事務所協会連合会賛助会員

建設産業情報化推進センター情報化評議会(CI-NET)会員